



学校だより

【教育目標】 学ぶ心 思う心 挑む心

令和5年度 第4号

神林中学校(☎66-5313) 令和5年6月27日

下越地区大会 神中の健闘

下越地区大会激励会 6月5日(月)

参観する保護者の皆様や全校生徒が見守る中、一人一人の選手が紹介され、各部の代表が決意を述べました。その後、応援団の指揮のもと、エールや拍手、校歌での応援が行われ、最後に、全校生徒が作成した応援メッセージが各部の部長に手渡されました。



全校朝会 6月8日(木) 「応援される人であれ！」

試合でしっかりと力を出し、さらに強くなるためには、周りの人たちの力が重要です。相手が真剣にやってくれる。その時の緊張感や雰囲気、自分の力を出し切るために必要です。そして、試合を作る会場や、ゲームを進める審判のリズムや配慮が、選手の力をさらに引き出します。また、今まで支えてくれたコーチや監督、仲間、家族の応援や信頼が力になります。だからこそ、みなさんには、ぜひ「誰からも、応援される人、応援されるチーム」になってほしいと思います。



応援される人とはどんな人でしょう。私は、応援される人は、周りへの感謝の気持ち、素直な気持ちをもっている人だと思います。自分の成長は自分の力だけではないことに気づき、支えてくれる人たちに感謝する人。そして、まわりの人たちの考えやアドバイスをしっかり聞き、素直に吸収しようとしている人。そんな人は、誰もが応援し、その活躍を喜んでくれるのではないのでしょうか。

感謝、素直さはどんなところに現れるでしょう。私はその一番の場面が、「あいさつ」だと思います。姿勢を正し、目を見て、「おはようございます」「こんにちは」「よろしくお願いします」と丁寧に大きな声であいさつすること。それができれば、しっかりとやる気や感謝の気持ちが伝わります。そして、もう一つは、しっかりと返事をする事です。名前を呼ばれたり、何か声をかけていただいたり、アドバイスをもらったしたら、まず、元気な声で「はい」と返事をする事。そして、しっかりと話を聞く姿は、「お願いします。吸収したい、成長したい」という素直な気持ちを相手に伝えます。

部活動を例に話をしましたが、みなさんは毎日、授業や行事など、新しいこと、時には苦手なことに挑戦し成長しています。そして、この毎日は、家族や先生方、クラスみんな、先輩や後輩、運転手さん、調理員さん等、たくさんの人に支えられています。そのすべての人に、応援してもらおうこと、サポートしてもらおうことで皆さんは大きく成長しています。

みんな、本気で、気持ちが伝わるあいさつと返事をしていきましょう。神林中学校の全員が誰からも応援される人になること、そして、一人一人がもっともっと成長していくことを、心から願っています。

下越地区各種大会 前半戦 6月9日(金)6月12日(月) 後半戦 6月23日(金)24日(土)

下越地区陸上大会 6月14日(水)15日(木) 新発田市五十公野公園陸上競技場

下越地区水泳競技記録会 6月19日(月)20日(火) 新潟市西海岸公園市営プール

- バスケットボール VS 中条中 44-74 で勝利
ベスト8 VS 五泉北中 49-58 で勝利
VS 佐和田中 73-64 で惜敗
- 野球 VS 本丸 13-9 で惜敗
- バレーボール 予選リーグ 2位 (VS 阿賀津川 0-2 勝、VS 新発田第一 2-1 負)
決勝トーナメント VS 佐和田中 2-1 で惜敗
- 卓球 団体戦女子 予選リーグ突破、準決勝リーグ 2勝2敗で惜敗
団体戦男子 予選リーグ惜敗
個人戦：女子 遠山、佐藤、木村 4回戦惜敗
沢田 3位入賞 県大会出場
男子 内山 4回戦惜敗 瀬賀、小田 3回戦惜敗
- ソフトテニス
個人戦 予選トーナメント 阿部・近ペア 3位、山口・坂上ペア 8位、川崎・内山ペア 9位
ベスト8決定リーグ 阿部・近ペア、山口・坂上ペア、川崎・内山ペア 惜敗
団体戦 VS 紫雲寺中 3-0 で惜敗
- 陸上競技
男子 100m 仲山 予選惜敗
女子 100m 小林、佐藤 予選惜敗
男子110mH 仲山 予選惜敗
男子1500m 阿部、中山 予選惜敗
女子 800m 近 予選惜敗
低学年女子4×100mリレー (近、小野、伊佐野、高野) 予選組1位、決勝2位
女子 200m 齋藤 予選惜敗
女子走り幅跳び 小野 8位、県大会出場
男子3000m 阿部 予選惜敗
男子 800m 大矢 予選惜敗
- 水泳競技
小田 100M自由形4位、県大会出場 200M自由形3位、県大会出場
齋藤 100M背泳ぎ2位、県大会出場 200M背泳ぎ2位、県大会出場

下越及び佐渡地区から集まった選手を相手に、3年生は3年間の成果を発揮する場、1、2年生も、今までの努力の成果を試す場でした。結果は上記のようになりましたが、どの選手も気迫のこもったプレーをし、最後までしっかりと力を出し切りました。以前勝てなかった相手に粘り強く食い下がったり、ポイントをもぎ取ったり、勝ち負けにかかわらず、神林中生徒のたくましさ、可能性を感じる大会でした。

何かに打ち込み、真剣勝負を経験し、心からのうれしさや悔しさを経験した人は、困難にぶつかっても、粘り強く立ち向かい、乗り越えていく力があります。この経験を、次の挑戦に生かしてほしいと思います。7月15～17日には新潟県総合体育大会、16日は下越吹奏楽コンクールが行われます。

さらなる神中生徒の健闘を祈ります。